

当院で診療を受けられた患者さんへ

研究課題「病院情報システム蓄積データを用いた
傷病名推定システム機能の開発研究」
ご協力のお願い

1. 研究課題名

「病院情報システム蓄積データを用いた傷病名推定システム機能の開発研究」
(審査番号：11939)

研究者氏名

大江 和彦 企画情報運営部/医療情報学分野 教授
河添 悦昌 企画情報運営部/医療情報学分野 講師
山下 英俊 大学院医学系研究科社会医学専攻医療情報学分野 大学院生（博士課程）

2. 研究の概要

2.1 目的

本研究の目的は、レセプトデータ（入院および外来）の記録を用いて、医師の診療行為等から各種傷病名を推定する機械学習モデルを開発し、その精度や応用可能性を評価することである。

2.2 方法・研究対象者

本研究は、東京大学医学部倫理審査委員会および附属病院長の承認を受けて実施するものです。研究期間は、(承認月)- 2021年3月までです。研究対象データは、2012年1月1日から2017年12月31日までに東京大学医学部附属病院を受診された方（入院および外来）の、診療情報、レセプトデータ、を元データとして抽出を行います。データは匿名化し、機械学習によって推定された傷病名とレセプトデータに記録された傷病名、もしくは医師が電子カルテから判断した傷病名、と比較することで妥当性を評価します。

研究対象者は2012年1月1日から2017年12月31日までの間に、東京大学医学部附属病院を受診された方(入院・外来)になります。既存の院内記録よりデータを取得して分析するものですので、元々の調査対象である受診者の方々に、この研究の実施に伴って新たに何らかの調査を行うものではありません。

3. 研究が行われる機関および実施場所

東京大学医学部附属病院内で実施いたします。

4. 研究における倫理的配慮について

この研究は、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則って行われます。研究に関わって収集されるデータは、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。これらのデータは生体認証を含む多重の認証が必要な安全な部屋で厳重に保管します。患者さんに関連する記録は、分析する前に匿名化処理によって個人が容易に特定されないようにします。このため、この研究に不明な点がある場合、あるいはデータを使用してほしくない場合、ご本人または代諾者の方が、本資料掲載後(掲載日)から3ヶ月以内(2018年8月まで)の期間に、下記の問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。上記の期間の経過後は、匿名化処理を行いますので、個人を特定できないことから、お申し出頂いた患者さんのデータを解析対象から除外することは困難です。代諾者等の選定に関しては、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針ガイダンス第5章第13に準じて行うことを基本としています。

研究結果は、統計的にまとめた情報として学会等で発表いたします。収集したデータは、特定の個人とわからない状態のまま、厳重な管理のもと研究終了後5年間保存されます。収集したデータは東大病院外に出ることはありません。なお、研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡くだ

さい。

この研究に関する費用は、大学運営交付金から支出されています。なお本研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。なお、対象となる患者さんへの謝金は発生しませんので、あらかじめご了承ください。

2018年5月

5. 本研究に関する連絡先
〒113-8655 東京都文京区本郷 7-3-1
東京大学医学部附属病院
企画情報運営部 大江和彦教授室
電話番号:03-5800-6427(直通)